

平成28年度事業報告書

1 児童虐待防止シンポジウム開催事業

児童福祉法改正に関するシンポジウムでは、子どもの権利を守り、実現するために、改正された児童福祉法を現場でどのように活用するか、児童福祉関係者からの報告をもとに意見交換をした。メンタルヘルス問題を抱える親のもとで生活する子どもへの支援のあり方に関するシンポジウムでは、研究者、NPO関係者、児童相談所等の立場から報告がなされ、児童福祉と精神保健福祉の協働の重要性について認識の共有が図られた。その他社会的養護の関係者を対象に「特別養子縁組に関するシンポジウム」を開催した。

◆ 第24回シンポジウム

- テーマ : 児童虐待防止に向けた『児童福祉法等の改正』を活かすために～現場からの発信～
- 日時・会場 : 平成28年5月8日 TKP東京駅日本橋カンファレンスセンター
- 参加者 : 約130名
- 内容 : 基調講演・シンポジウム

◆ 第25回シンポジウム

- テーマ : メンタルヘルス問題のある親による子ども養育世帯への支援を考える
- 日時・会場 : 平成29年1月22日 星陵会館
- 参加者 : 約180名
- 内容 : 基調講演・シンポジウム



◆ シンポジウム

- テーマ : 特別養子縁組に関するシンポジウム～民法を中心として～
- 日時・会場 : 平成28年7月3日 日本女子大学
- 参加者 : 約100名
- 内容 : シンポジウム

2 児童虐待防止啓発活動事業

子ども虐待防止に対する意識の向上と虐待の予防、早期発見・対応の充実を図るために、オレンジリボンフォーラムの開催、オレンジリボンの配布活動、支援団体とのイベントの共催、ポスターコンテスト、鎮魂集会の実施、ホームページの活用等、オレンジリボン運動の普及啓発活動を幅広く行った。

◆ 第4回 オレンジリボンフォーラム

ステージでは、お笑いタレントのくわばたりえさんによる子育てトークショーやあそびうたライブ、子ども虐待に関する子育てトークなどを行った。また、支援団体・企業のブースを設け、一般の子育て中の親子に仲間づくりや息抜きの場を提供する等、子ども虐待防止に向けた取組みや子育てについて学ぶ機会とした。

- テーマ : 親と子を楽しもう！
- 日時・会場 : 平成28年6月19日(日) 昭和女子大学(世田谷区)
- 参加者 : 約450名
- 内容 : 子育てトークショー、おやこライブ、ポスターコンテスト表彰式、子ども虐待防止のトークセッション、支援企業・団体によるブース出展他



◆ ポスターコンテスト事業

一般市民への啓発を目的に、全国から子ども虐待防止のデザインを募集し、オレンジリボン運動のポスターを作成した。また、参加団体・企業と共にオレンジリボン運動ポスター約10,000枚を掲出した。

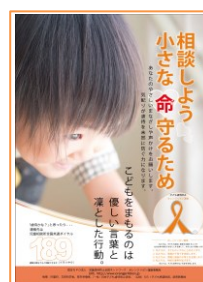
- 実施時期 : 募集…11月～3月、選考4月、表彰…6月(オレンジリボンフォーラムにて)
- 内容 : 最優秀賞10万円を1名、優秀賞3万円を2名、ユース賞1名、特別賞、企業賞を設定し、美術系の専門学校・大学・高校等を中心に広く応募を呼び掛けた。応募総数305作品の中から審査員が選考し、1次審査通過者には記念としてメモ帳を贈呈した。6/19に開催されたオレンジリボンフォーラムで受賞者の表彰を行った。
- 選考したデザインを活かしてポスターを作成し、関係機関等に配布・活用を通じて虐待防止の啓発につなげた。



<最優秀賞>



<優秀賞>



<優秀賞>



<ユース賞>

◆ グッズ作成・配布

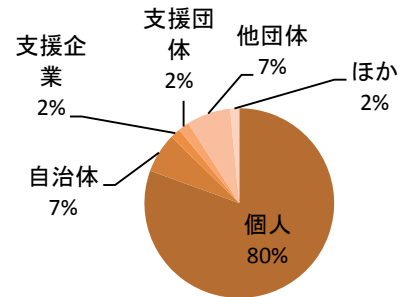
児童相談所共通ダイヤル「189」啓発グッズおよび従来からのオレンジリボングッズを作成し、啓発した。新グッズとしてキーホルダーをアイテムに追加。また、今年度より、自治体や支援企業・団体向けにグッズ(5アイテム)に組織の名称を入れられるようにした。広くカタログ案内を行い、特にのぼり旗の注文が多く、11月の推進月間に活用された。

啓発ツールとして、チラシ、ポスター、布リボン、啓発冊子、マスク等を作成・配布し、啓発を行った。



＜主なグッズ頒布数推移＞

グッズ	27年度	28年度
オレンジリボンバッジ	17,445	11,953
名刺用(啓発シール)	455	393
マグネット	406	249
ストラップ	548	217
クリアファイル	3,589	2,616
Tシャツ	502	715
ボールペン	1,191	1,835



グッズ 頒布件数の割合

◆ 春のオレンジリボンキャンペーン

児童福祉週間(5月)を中心にオレンジリボンを付けようと呼びかけた。個人サポーター(約12,000人)へオレンジリボンポスター掲出のお願いをし、ポスター365枚と布リボン5800個を提供した。また、ホームページにてオレンジリボンの着用を呼びかけ、11月の虐待防止月間のみならず市民の参加意識を高められるよう児童虐待防止の啓発をした。

- 実施時期 : 平成28年4月中旬～5月末日
- 内容 : 個人サポーターを中心に、オレンジリボン着用、ポスター掲出の呼びかけ等、広報啓発活動を実施した。

◆ 全国一斉オレンジリボン街頭配布

児童虐待防止月間の主催イベントとして、全国各地で支援企業/団体の協力によるツールの配布等、オレンジリボン運動の啓発活動を行った。

- 実施時期 : 平成28年11月3日(木・祝)を中心にその前後で実施。
- 内容 : 駅前等の公共の場所やイベント会場等、人の集まる場所を中心にマスク18万枚、布リボン6.5千個、チラシ6.1万枚を配布するとともに、のぼり旗やポスター650枚の掲出、声かけなどで児童虐待防止について啓発・呼び掛けを行った。
- 一斉配布協力企業・団体数: 86企業・団体



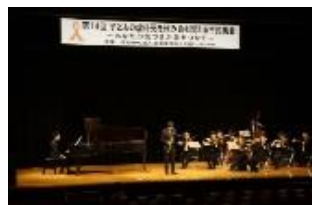
児童虐待防止全国ネットワークとして

- 実施日 : 平成28年11月3日(木・祝)
- 実施場所: 東京都豊島区 池袋サンシャイン通り
- 内容 : 豊島区の協力の下、ボランティアと一緒にオレンジリボンTシャツを着用し、マスク15,000枚を配布、のぼり等を立て休日の大勢の人が行きかう中、オレンジリボンの啓発を行った。

◆ 鎮魂集会事業

児童虐待によって失われた子どもの命を悼み、児童虐待防止を啓発することを目的に鎮魂集会および鎮魂の行進を行った。

- 日時・会場 : 平成28年11月13日(日) ニッショーホール
- 参加者 : 約450名
- 内容 : 第14回子どもの虐待死を悼み 命を讃える市民集会 ～あなたの気づきが命をつなぐ～
 第1部: 虐待死した子どもの名前が読み上げられ、参加者全員で黙祷を捧げた。
 第2部: 講演「子ども虐待の背景を探る～深刻化する貧困の現状と子どもの育ち 湯浅 誠 氏
 第3部: 子ども虐待防止を訴える「鎮魂の行進」 ニッショーホールをスタートして、銀座界隈を通り、京橋公園までを子ども虐待のない社会づくりをアピールし、行進した。



◆ 子ども虐待防止のための講演、研修および取材

<新聞、TV、雑誌の取材>

日付	媒体	タイトル	内容
2016年4月号	いきいき	「増える子どもへの虐待」	吉田理事長コメント掲載
4月7日	女性セブン	「もしも児童虐待を見つけたら」	高祖理事コメント掲載
4月13日	NHK「あさイチ」	児童相談所全国共通ダイヤル「189」について	高祖理事VTR出演
5月16日	弁護士ドットコム	「子どもの『体罰』『しつけ』どう定義する？ 児童福祉法改正案めぐり」	吉田理事長コメント掲載
6月8日	毎日新聞	「しつけ 虐待 境界どこに」	吉田理事長コメント掲載
7月2日	アベマTV「みのもんたのよるバズ」	児童虐待が激増 通告された児童数が増えた理由とは？	高祖理事生出演
7月7日	朝日新聞	「学びを語る」でしつけについて	高祖理事コメント掲載
複数号にて	東遊商「Toyusho」	「特別対談」	吉田理事長対談
2016年春号	Pre-mo 主婦の友社	「パパになるってどういうこと!？」	高祖理事コメント掲載

<講演会・研修会等への講師派遣>

日付	内容
5月13日	「児童虐待の防止と要保護児童対策地域協議会の役割」 入間市要保護児童対策地域協議会代表者会議
8月3日	「児童虐待の防止と民生児童委員への期待」 調布市民生児童委員協議会
8月18日	志木市要保護児童対策地域協議会実務者会議スーパーバイス

◆ 学生によるオレンジリボン啓発活動

厚生労働省や関係機関の協力の下、「学生によるオレンジリボン運動」について、保育士養成校など全国にある大学等に呼びかけ、全国68校からの参加登録があった。登録校には啓発ツール一式をサンプルとして提供した。また、全国大会(報告会)を開催し、参加登録校の中から6校が参加し発表を行った。

- 日時・会場：平成29年2月5日(日) T's渋谷フラッグカンファレンスセンター
- 参加者：約40名
- 内容：「学生によるオレンジリボン運動全国大会」
大学等で実施したオレンジリボン運動の活動内容や今後の取り組みについて工夫をこらし、プレゼンテーションを行った。
厚労省、東京都、支援企業より審査員として参加いただき、オレンジリボン大賞、オレンジリボン奨励賞、厚労省児童虐待防止対策推進室室長賞を決定し表彰を行った。



◆ ホームページのリニューアル

スマートフォンに対応するため、より見やすいホームページにすることを目的にリニューアルを行った。2017年2月より新しいホームページの運用を開始した。

◆ オレンジリボン認知度調査

オレンジリボン運動の広がりに関する現状の確認と、今後の活動のための情報入手を目的に、リサーチ会社(株式会社バルク)の協力を得て、2017年2月にオレンジリボン運動に関する認知度調査を実施した。調査結果からオレンジリボン運動の有用性が確認されたが、社会での認知がまだ十分でないことも明らかになり、今後の課題となった。

◆ その他

「子ども虐待防止オレンジリボン」の商標登録の更新手続きを行った。

3 目的を同じくする団体との連携事業

◆ イベント等共催事業

支援団体と協力して児童虐待防止の啓発を行った。平成28年度は全国11団体の協力を得て啓発活動を行った。

- 実施時期：平成28年度中
- 内容：各地の支援団体とイベント等を共催し、企画・広報等の支援をするとともに開催経費を一部負担した。

支援団体名	啓発内容
CFRびわこ	びわ湖一周オレンジリボンたすきリレー
広島文化学園大学看護学部ボランティアサークル	シンポジウム&交流会「防ごう子ども虐待 地域で支えよう親と子」
ながの子どもを虐待から守る会	「児童虐待防止の輪を地域に広げよう」
特非)いばらき子どもの虐待防止ネットワークあい	講演会「子どもを虐待する親」
オレンジゴスペル実行委員会	オレンジゴスペル全国ツアー2016
NPO法人 子どもの虐待防止ネットワークかがわ	かがわ育児の日フェスティバル オレンジリボンキャンペーン
高円寺フェス実行委員会	高円寺フェス ダンスコンテスト
子どもの幸せを願うネットワーク こども幸せねっと	ちたオレンジリボンフォーラム
KSW制作委員会	映画上映会&監督による講演
Gospel Wing Fellowship Choir	ゴスペル大合唱コンサート「歌も子育てもみんなで！」
NPO法人全国福祉未来ネットワーク	第4回未来を担う若者会議

◆ 日本子ども虐待防止学会(JaSPCAN)との連携

平成28年11月25日~26日に大阪府で開催された「第22回学術集會おおさか大会」で、資料配布用のオレンジリボン不織布バッグを提供し協力した。

平成28年度 事業報告書
平成28年4月1日から平成29年3月31日まで

特定非営利活動法人
児童虐待防止全国ネットワーク

1 事業の成果

シンポジウム事業では、児童福祉法改正をテーマとしたシンポジウム、親にメンタルヘルス問題のある家庭への支援のあり方に関するシンポジウムおよび「特別養子縁組に関するシンポジウム」を開催した。いずれも時宜を得たテーマであり、多くの関係者の参加があった。

啓発事業では、子育て支援を通じての虐待防止を目的に、世田谷区と共催によるオレンジリボン・フォーラム、オレンジリボン・グッズの配布による啓発、オレンジリボン・ポスターコンテスト、学生によるオレンジリボン啓発活動及び報告会等を行った。11月の児童虐待防止月間には全国で20万枚のオレンジリボンマスクを配布し、児童虐待通告電話番号「189」の周知に努めた。11月には虐待で命を落とした子どもたちの冥福を祈る鎮魂集会を開催し、社会活動家湯浅誠氏の講演、鎮魂の祈りと行進を行った。他団体との共催事業として、日本子ども虐待防止学会を初め、全国のオレンジリボン支援団体と共催で子ども虐待防止イベントを開催した、以上の活動により、当法人の事業目的を十分に達成することができた。

2 事業の実施に関する事項

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従業者の人数	受益対象者の範囲及び人数	事業費の金額(千円)
児童虐待防止シンポジウム事業	児童虐待防止に向けた『児童福祉法等の改正』を活かすために～現場からの発信～ 将来の法改正につなげるべき積み残し課題について、現場の立場から提言し国会の審議や行政による制度作りにつなげるため課題等を共有し	平成28年5月8日	TKP東京駅日本橋カンファレンスセンター	約20人	約130人	872
	メンタルヘルス問題のある親による子ども養育世帯への支援を考える 多様なフィールドでこの課題とかがわっている実践者や研究者の方々が講演を行い、関係者・支援者が情報と問題意識を共有した。	平成29年1月22日	星陵会館	約20人	約180人	1,165
	特別養子縁組に関するシンポジウム～民法を中心として～ 現在の特別養子制度の問題点、養子・養親支援の現状、制度改正の必要性と方向性について報告がなされ、今後の法改正の論点と課題を共有することができた。	平成28年7月3日	日本女子大学	約5人	約100人	0
児童虐待防止啓発事業	オレンジリボンフォーラム 子育てトークショーをはじめ、あそびうた親子ライブ、子ども虐待防止のトークセッションや支援団体等のブースを設け、一般の子育て中の親子に仲間づくりや息抜きの場を提供し、子ども虐待防止に向けた取組みや子育てについて学ぶ機会とした。	平成28年6月19日	昭和女子大学	約40人	約450人	943
	オレンジリボン配布活動 児童虐待防止のシンボルであるオレンジリボンやオレンジリボンバッジ等の啓発グッズ、マスクの配布、さまざまなキャンペーンへの参加等により、児童虐待のない社会の実現を目指す啓発活動を行った。	通年	全国	不特定多数	不特定多数 リボン配布数(約3万6千個) マスク配布数(約18万枚)他	24,068
	オレンジリボンポスターコンテスト 一般への啓発を目的に、全国の美術系専門学校生・大学生・高校生等、またユース(中学生以下)より広くオレンジリボンを用いたポスターのデザインを募集し、コンテストを実施した。コンテスト参加企業とともに受賞作品を活用し、啓発活動を行った。	平成27年11月～平成28年6月	全国(表彰式:昭和女子大学)	10人	約450人	2,418
	学生によるオレンジリボン運動 全国の大学等にオレンジリボン運動への参加を呼び掛け、68校からの参加登録があった。全国大会(報告会)を開催し、参加登録校の中から6校が参加し発表を行った。	平成28年7～平成29年3月 2月5日	T's渋谷フラッグカンファレンスセンター	約5人	約40人	322
	虐待で命を落とした子どもの鎮魂集会事業 児童虐待で命を落とした子どもの冥福を祈り、虐待のない社会を目指すための集会及び鎮魂の行進を実施した。	平成28年11月13日	ニッショーホール	約100人	約450人	2,203
目的を同じくする団体との連携事業	オレンジリボン共催事業 支援団体に11月の虐待防止月間を中心に虐待防止のイベント共催を呼びかけ、全国11団体とともに虐待防止の啓発活動を行った。	平成28年度中	東京・群馬・長野・大阪・滋賀など	約5人	約100人	1,807
	日本子ども虐待防止学会との連携により、オレンジリボンを通じて児童虐待防止の啓発を行った。	平成28年12月2-3日	大阪府	3人	不特定多数	202